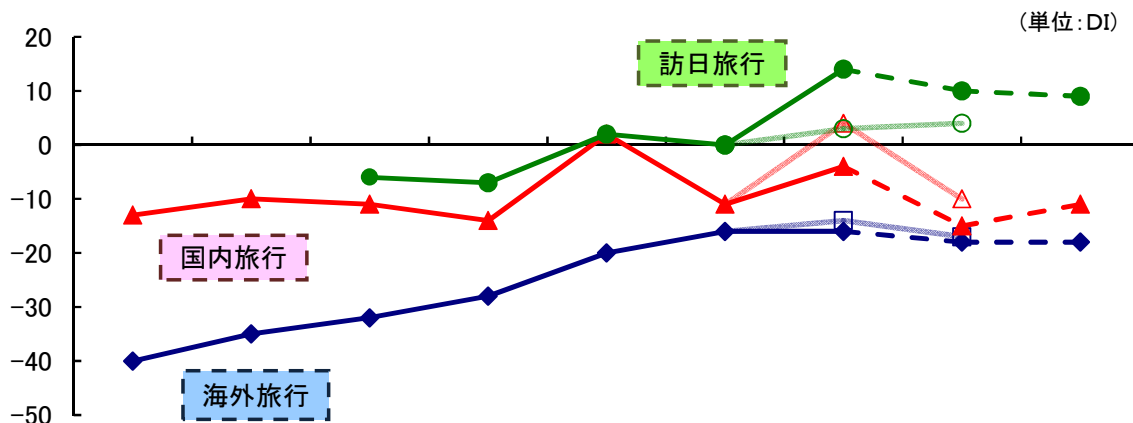


「2017年12月期(第3回) 旅行市場動向調査」

一般社団法人 日本旅行業協会 (JATA) では、JATA会員各社および中連協会各社へ調査モニターへの登録を依頼し、登録のあった600社を対象として、四半期ごとに「旅行市場動向調査」を実施しております。今回、12月期の調査がまとまりましたのでお知らせします。

- 海外旅行DIは、9月期から伸び率は変動なく-16ポイントで横ばいに推移
※業種態別では、ネット系旅行会社が125ポイントも上昇し+25と回復傾向
※方面別では、アメリカ・カナダが3ポイント上昇で-25、オセアニアは2ポイント上昇で-28と回復傾向。アジア、ハワイは緩やかな増減で上位で推移。
○3カ月後のDIは、2ポイント下落し-18ポイントへ。6ヶ月後は2ポイント下落し-18ポイントへ。
- 国内旅行DI 9月期より7ポイント上昇して-4
※業種態別では、リテラー1は21ポイント上昇し+21へ。団体旅行は全体的に各形態とも上昇し改善へ。個人旅行では、ファミリー層の伸び率が25ポイント減少し-15へ
※方面別では、九州が11ポイント上昇し-16で回復傾向。京阪神は3ポイント減少するも、+6で依然として首位を維持。
○3カ月後DIは、11ポイント下落し-15ポイントへ。6ヶ月後は7ポイント下落し-11ポイントへ。
- 訪日旅行DI 9月期より14ポイント上昇しプラス14
※業種態別では、リテラー1が42ポイントも上昇し+20で大幅に回復。
※方面別では、九州が8ポイント上昇し-16で回復。大阪・京都および首都圏は上位でプラスに推移。
○3カ月後DIは、4ポイント下落し10ポイントへ。6ヶ月後は5ポイント下落し9ポイントへ。



	1年半前 (4~6月)	1年 3カ月前 (7~9月)	1年前 (10~12月)	9カ月前 (1~3月)	6カ月前 (4~6月)	3カ月前 (7~9月)	現況 (10~12月)	3カ月後 (1~3月)	6カ月後 (4~6月)
海外旅行全般	-40	-35	-32	-28	-20	-16	-16	-18	-18
							※-14	※-17	
国内旅行全般	-13	-10	-11	-14	2	-11	-4	-15	-11
							※4	※-10	
訪日旅行全般	-	-	-6	-7	2	0	14	10	9
							※3	※4	

※2017年9月期調査見通し数値

■旅行市場動向調査について

一般社団法人 日本旅行業協会（JATA）では、JATA会員および中連協会員各社へ調査モニターへの登録を依頼し、会員1,189社中、登録のあった600社を対象として、四半期ごとに「旅行市場動向調査」を実施し、その結果を発表しております。

「旅行市場動向調査」は、現況・先行き（3ヵ月後）についてのアンケートを実施し、旅行市場の動向を把握することを目的としております。

調査では各質問事項に対し「良い」「普通」「悪い」「取り扱っていない」で評価を求め、回答数から「取り扱っていない」（無回答を含む）の回答を除いたものを母数として各回答のシェアを算出し、「良い」を選んだ割合（%）から「悪い」を選んだ割合（%）を引いて、「D I」（=Diffusion Index ディフュージョン・インデックス）という景気動向指数に加工して発表しています。D I 値の範囲は、全て良い（100）から、全て悪い（-100）の間の評価となります。

◆調査概要

調査地域	： 全国
調査対象	： J A T A 会員各社、中連協会員各社の経営者など
調査方法	： インターネット調査
調査期間	： 2017年11月6日（月）～11月26日（日）
設定数	： 600社
回収数	： 307社
回収率	： 51.1%

◆業態別区分について

「旅行市場動向調査」では、各業況を業態別に分析しています。
各業態の定義と今回調査での回答件数は下記の表の通りとなっています。

業態名	定義	社数	比率
総合旅行会社	全国にネットワークを持ち、全分野に商品を持つ大規模な旅行会社	36	11.7%
海外旅行 ホールセラー	海外旅行を専業とするホールセラー会社	18	5.9%
海外旅行系 旅行会社	旅行業の取扱額が50億円以上で、うち海外旅行の取扱額が80%以上の旅行会社	17	5.5%
国内旅行 ホールセラー	国内旅行を専業とするホールセラー会社	6	2.0%
リテラー 1	上記以外で 旅行業の取扱額が30億円以上の旅行会社	25	8.1%
リテラー 2	上記以外で 旅行業の取扱額が30億円未満の旅行会社	123	40.1%
インハウス	親会社の業務渡航などを中心に行っている旅行会社	46	15.0%
ネット系 旅行会社	上記以外でインターネット販売が 中心である会社	9	2.9%
訪日旅行系 旅行会社	上記以外で訪日旅行販売が中心である会社	27	8.8%

*ホールセラー … パッケージツアーの企画・販売を専門に行う旅行会社

この資料についてのお問い合わせは、JATA広報室までお願いします。
なお、本データはJATAホームページ <http://www.jata-net.or.jp> でご覧になれます。
TEL : (03)3592-1244

■海外旅行全般の業況について

現況は、9月期から伸び率の変動なくマイナス16で横ばいに推移
 ネット系旅行会社は125ポイント増加し、大幅に回復してプラス25へ。
 アメリカ・カナダ、オセアニアは回復基調。アジア、ハワイは緩やかな減少で上位で推移。
 3ヵ月後は2ポイント減少し、マイナス18となる見通し。

総合

3ヵ月前と同様で-16で横ばいに推移、3ヶ月後の見通しは2ポイント減少し-18へ。
業界別では、ネット系旅行会社は125ポイント増で(+25)に回復傾向。リテラー1は18ポイント増(+21)、インハウスは14ポイント増(+2)、総合旅行会社は5ポイント増(+15)と上昇。一方、海外ホールセラーは23ポイント減で(-44)、リテラー2は13ポイント減で(-39)、海外旅行系旅行会社は3ポイント減(-17)で下落。
方面別では、アメリカ・カナダは3ポイント増で(-25)、オセアニアは2ポイント増で(-28)、アジア、ハワイ、中国は緩やかに下降。ミクロネシアは21ポイント減で(-58)と下落が顕著に。**顧客層別**では、インセンティブは10ポイント増で(-16)と回復傾向、教育旅行、学生は緩やかに上昇し、ファミリーは15ポイント減(-30)で下落。

現況(10月~12月) アメリカ・カナダ、オセアニアは回復基調

- ・アメリカ・カナダ等のロングも動きが出てきた。(第1種/総合旅行会社)
- ・パッケージ商品より航空券&ホテルの組み合わせが好調(第1種/海外旅行系旅行会社)
- ・年末・年始は近隣のシンガポール・台湾が人気である。(第1種/リテラー1)
- ・アジアの単価が低めの方面が好調(第1種/インハウス)

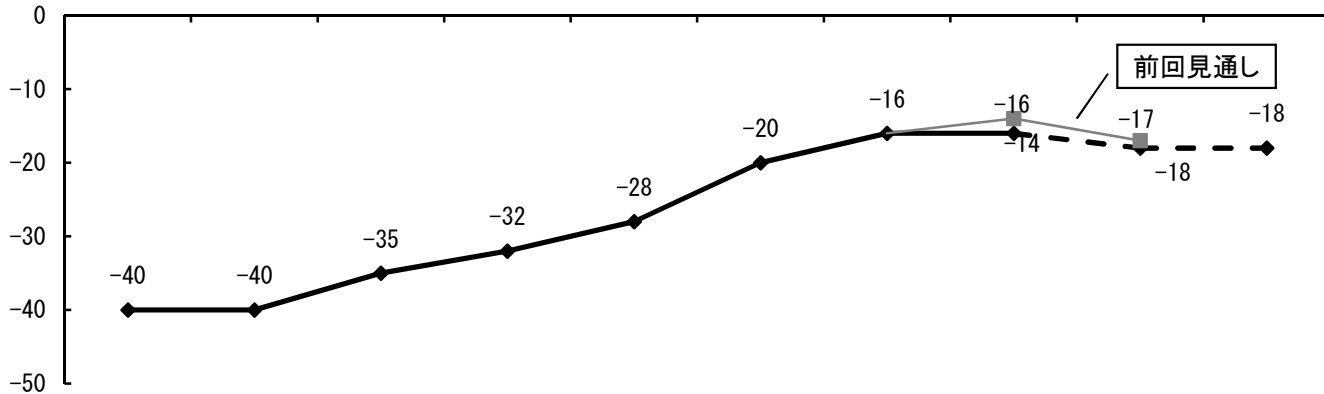
3ヵ月後、6ヵ月後の見通し ハワイ、アジアは好調を維持し上位継続

- ・ヨーロッパ方面が徐々に回復傾向にある。(第1種/総合旅行会社)
- ・中国は低廉ツアーの導入により集客増につながった。(第1種/リテラー2)
- ・海外旅行全般の傾向として女性の旅行が好調(第1種/リテラー1)

3ヵ月後(1~3月)は2ポイント下落し-18。6ヵ月後(4~6月)は2ポイント下落し-18。

N:有効回答数
(N=246)

(単位: D I)



2年前 (10~12月)	1年半前 (4~6月)	1年 3ヵ月前 (7~9月)	1年前 (10~12月)	9ヵ月前 (1~3月)	6ヵ月前 (4~6月)	3ヵ月前 (7~9月)	現況 (10~12月)	3ヵ月後 (1~3月)	6ヵ月後 (4~6月)
-40	-40	-35	-32	-28	-20	-16	-16	-18	-18
							※-14	※-17	

※2017年9月期調査見通し数値

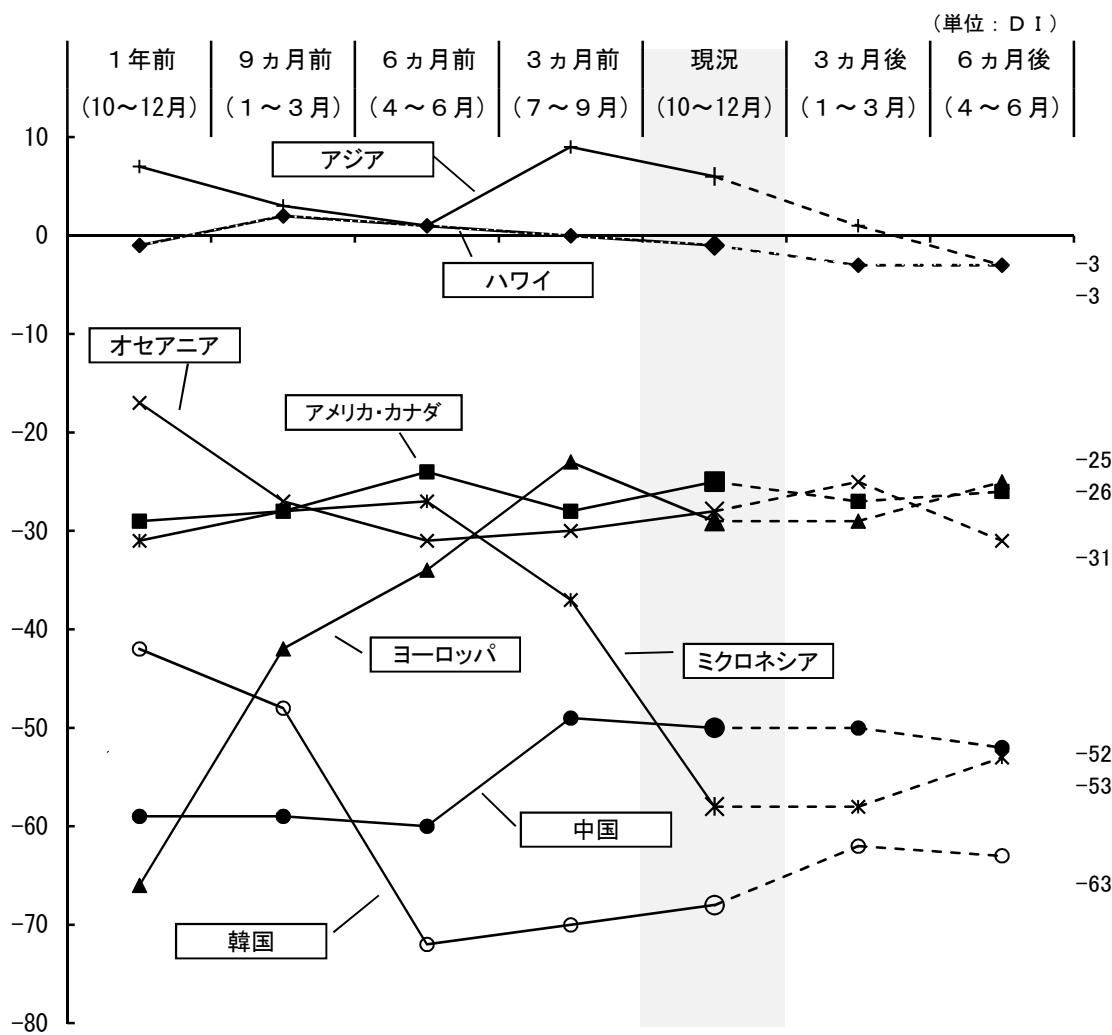
	1年半前 (4~6月)	1年 3ヵ月前 (7~9月)	1年前 (10~12月)	9ヵ月前 (1~3月)	6ヵ月前 (4~6月)	3ヵ月前 (7~9月)	現況 (10~12月)	3ヵ月後 (1~3月)	6ヵ月後 (4~6月)
総合旅行会社	-63	-49	-42	-14	11	10	15	12	0
海外旅行ホールセラー	-48	-44	-41	-40	-35	-21	-44	-33	-38
海外旅行系旅行会社	-6	-27	8	-16	-9	-14	-17	18	25
リテラー1	-38	-40	-23	-19	9	3	21	0	0
リテラー2	-39	-33	-35	-37	-34	-26	-39	-37	-37
インハウス	-40	-25	-20	-17	-15	-12	2	-12	-10
ネット系旅行会社	-50	-33	-50	-50	-16	-100	25	0	25

◆海外旅行の需要動向（方面別）

現況はアジア、アメリカ・カナダ、オセアニアは顕著に回復。
 ハワイは、僅かに下落するも上位を維持。ミクロネシアは大きく下落。
 3ヵ月後はハワイ、アジアは好調を維持し上位継続。

- ・ 現況は3カ月前（7月～9月）に比べ、アメリカ・カナダは3ポイント増で（-25）、オセアニアは2ポイント増で（-28）、韓国は2ポイント増で（-68）で回復傾向。その一方で、アジアは3ポイント減で（+6）、ハワイは1ポイント減で（-1）、中国は1ポイント減で（-50）と緩やかに下降。ヨーロッパも6ポイント減で（-29）、ミクロネシアは21ポイント減で（-58）へ下落傾向。
- ・ 3ヵ月後（1月～3月）は、韓国は6ポイント上昇し回復の兆しを見せる。ヨーロッパ、ミクロネシア、中国は横ばい傾向に推移。アジアは5ポイント減、ハワイは2ポイント減、アメリカ・カナダも2ポイント減で緩やかに下降傾向。

N:有効回答数
 (N=246)



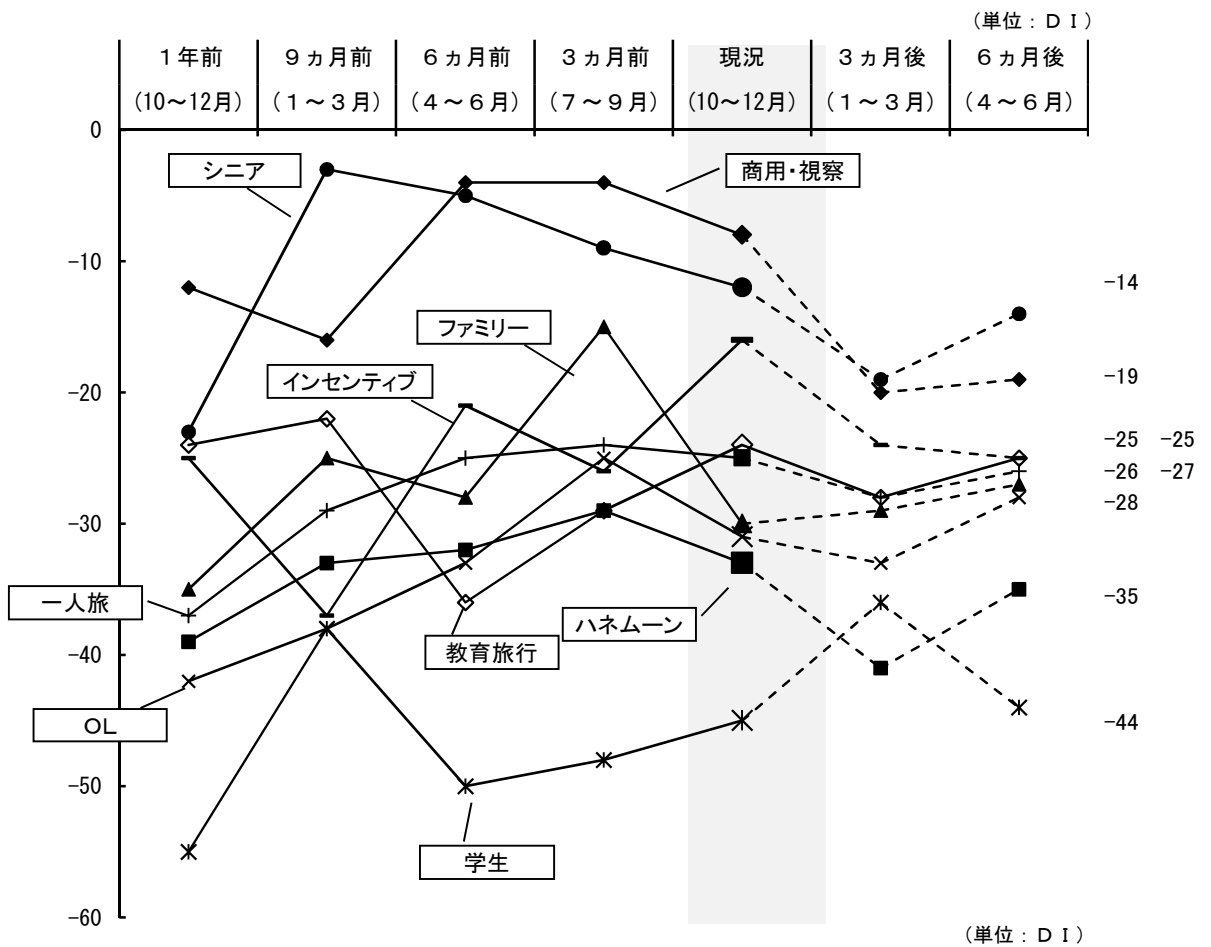
	1年前 (10~12月)	9カ月前 (1~3月)	6カ月前 (4~6月)	3カ月前 (7~9月)	現況 (10~12月)	3ヵ月後 (1~3月)	6ヵ月後 (4~6月)
ハワイ	-1	2	1	0	-1	-3	-3
アメリカ・カナダ	-29	-28	-24	-28	-25	-27	-26
ヨーロッパ	-66	-42	-34	-23	-29	-29	-25
オセアニア	-17	-27	-31	-30	-28	-25	-31
ミクロネシア	-31	-28	-27	-37	-58	-58	-53
アジア	7	3	1	9	6	1	-3
中国	-59	-59	-60	-49	-50	-50	-52
韓国	-42	-48	-72	-70	-68	-62	-63

◆海外旅行の需要動向（顧客層別）

現況はインセンティブが大幅に上昇。ファミリー、シニアは下降傾向
3ヵ月後は学生は上昇するが、商用・視察、ハネムーンは下落を推移。

- ・ 現況は3ヵ月前（7月～9月）に比べ、インセンティブは10ポイント増で（-16）、教育旅行は5ポイント増で（-24）、学生は3ポイント増で（-45）回復傾向。ハネムーン、商用・視察、シニア、一人旅は緩やかに下降傾向。その一方で、ファミリーは15ポイント減で（-30）、OLは6ポイント減で（-31）に下落傾向。
- ・ 3ヵ月後（1月～3月）は、学生が9ポイント増加、ファミリーは横ばいで推移。教育旅行は4ポイント減、一人旅は3ポイント減、OLは2ポイント減と緩やかに下降で推移。商用・視察は12ポイント減、ハネムーンは8ポイント減、インセンティブは8ポイント減、シニアは7ポイント減で下落傾向。

N:有効回答数
(N=246)



	1年前 (10~12月)	9ヵ月前 (1~3月)	6ヵ月前 (4~6月)	3ヵ月前 (7~9月)	現況 (10~12月)	3ヵ月後 (1~3月)	6ヵ月後 (4~6月)
ハネムーン	-39	-33	-32	-29	-33	-41	-35
ファミリー	-35	-25	-28	-15	-30	-29	-27
OL	-42	-38	-33	-25	-31	-33	-28
学生 (教育旅行を除く)	-55	-38	-50	-48	-45	-36	-44
シニア (60歳以上)	-23	-3	-5	-9	-12	-19	-14
一人旅	-37	-29	-25	-24	-25	-28	-26
インセンティブ(*)	-25	-37	-21	-26	-16	-24	-25
商用・視察	-12	-16	-4	-4	-8	-20	-19
教育旅行	-24	-22	-36	-29	-24	-28	-25

*「インセンティブ」:企業・団体等が従業員への報奨として提供する旅行

■国内旅行全般の業況について

現況は7ポイント増加し-4で顕著に回復。リテラー1は21ポイントも増加し大きく上昇。
 団体旅行は全体的に上昇し回復。個人旅行では全体的に下降傾向。
 九州は順調に回復、京阪神は上位でやや下降傾向。
 3ヵ月後は国内旅行ホールセラーが33ポイント増で推移

総合

現況は3ヵ月前より7ポイント増加し-4で顕著に回復。
 業種態別では、リテラー1は21ポイント増で(+21)が、リテラー2は11ポイント増で(-5)、総合旅行会社は8ポイント増で(-7)、ネット系旅行会社は7ポイント増で(-20)、インハウスは3ポイント増(0)で回復傾向。国内旅行ホールセラーは33ポイントも下落。方面別では九州が11ポイント増で(-10)、山陽・山陰は5ポイント増で(-19)で回復傾向。上位の京阪神は3ポイント減で(+6)緩やかに下降傾向。顧客層別では、団体旅行は全体的に各形態とも上昇し回復、個人旅行は全体的に下降傾向。

現況(10~12月) 九州は順調に回復、京阪神は下降傾向であるが上位を維持。

- ・ 沖縄、北海道、九州などのロング方面が好調である。(第1種/リテラー1)
- ・ 年末年始は宿泊は昨年度より好調。(第1種/リテラー1)

国内旅行全般は3ヵ月前(7~9月)より7ポイント上昇し、-4。

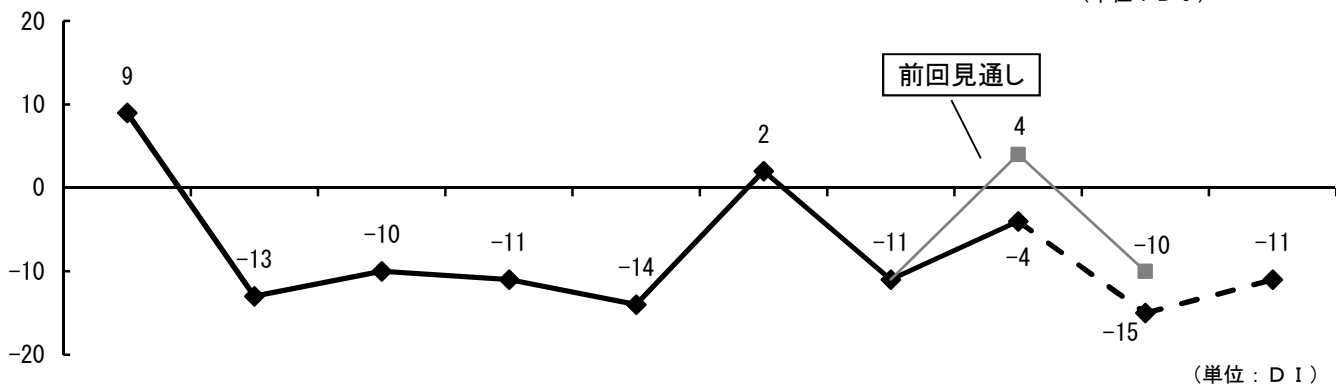
3ヵ月後、6ヵ月後の見通し 全体的に下降傾向であるが、沖縄のみ横ばいで推移。

- ・ 沖縄は年間通じて集客が堅調である。(第1種/国内旅行ホールセラー)
- ・ LCCの就航により国内旅行需要が活性化、一方では低廉化の商品の傾向へ(第1種/リテラー2)
- ・ 関西圏需要は好調に推移している。(第2種/リテラー2)

3ヵ月後(1~3月)は11ポイント下落し-15。6ヵ月後(4~6月)は7ポイント下落し-11。

N:有効回答数
(N=195)

(単位:DI)



2年前 (10~12月)	1年半前 (4~6月)	1年 3ヵ月前 (7~9月)	1年前 (10~12月)	9ヵ月前 (1~3月)	6ヵ月前 (4~6月)	3ヵ月前 (7~9月)	現況 (10~12月)	3ヵ月後 (1~3月)	6ヵ月後 (4~6月)
9	-13	-10	-11	-14	2	-11	-4	-15	-11
							※4	※-10	

※2017年9月期調査見通し数値

	1年半前 (4~6月)	1年 3ヵ月前 (7~9月)	1年前 (10~12月)	9ヵ月前 (1~3月)	6ヵ月前 (4~6月)	3ヵ月前 (7~9月)	現況 (10~12月)	3ヵ月後 (1~3月)	6ヵ月後 (4~6月)
総合旅行会社	-13	-13	-18	-19	18	-15	-7	-7	-4
国内旅行ホールセラー	-20	-28	-43	0	-33	0	-33	0	0
リテラー1	-34	-21	-39	-19	20	0	21	0	5
リテラー2	-11	-9	-3	-16	5	-16	-5	-22	-17
インハウス	-8	8	-5	7	-7	-3	0	-11	-5
ネット系旅行会社	-33	-44	-33	-67	-43	-27	-20	-20	-40

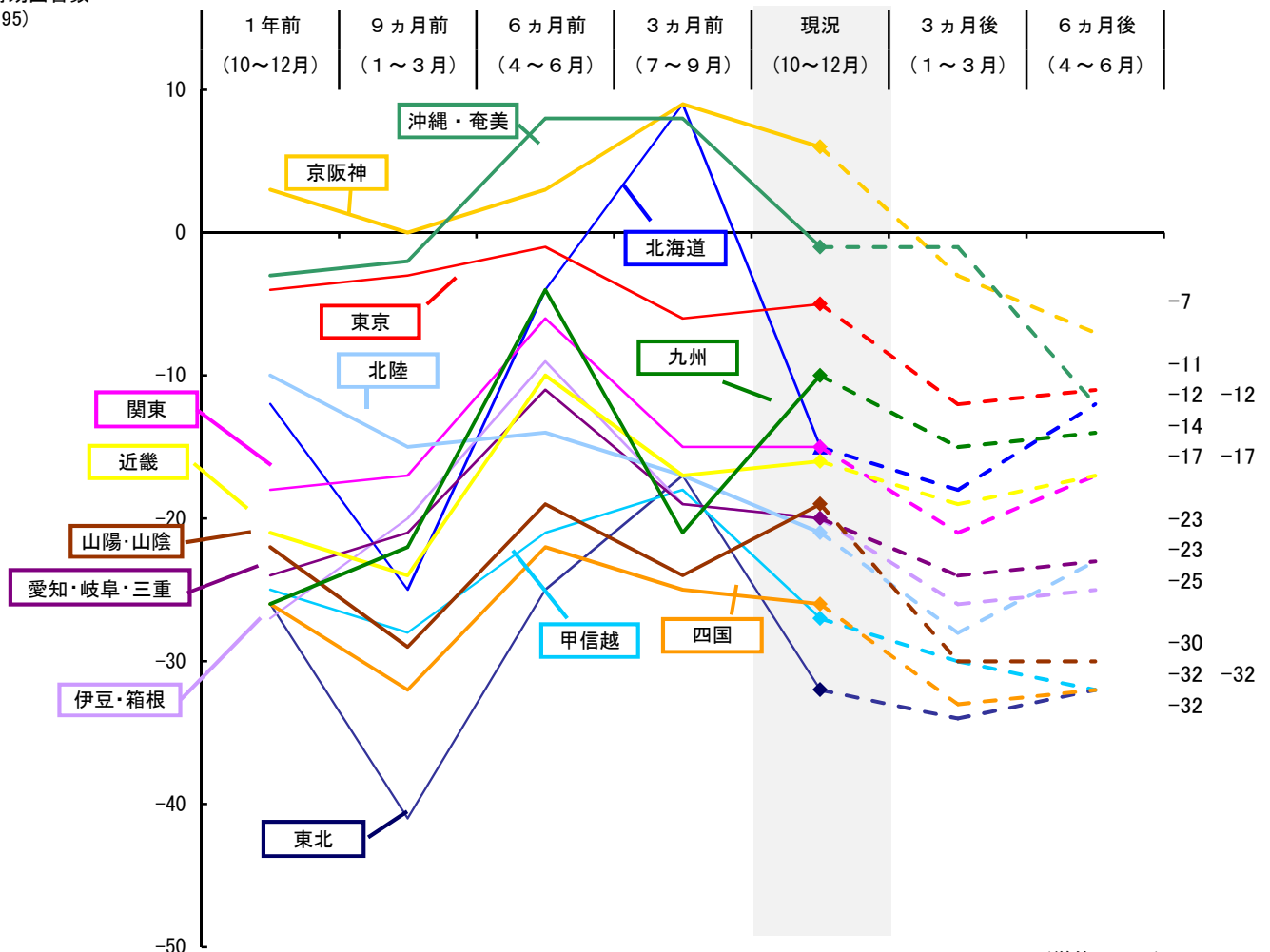
◆国内旅行の需要動向（方面別）

現況は九州は11ポイント増、山陽・山陰は5ポイント増で回復傾向。
 京阪神は3ポイント減少するも依然として首位を維持
 北海道は24ポイント減、東北は15ポイント減で下落傾向。
 3ヵ月後は沖縄が横ばいで推移するが、全体的に下落傾向。

- ・ 現況は3ヵ月前(7~9月)に比べ、九州は11ポイント増で(-10)で回復傾向。山陽・山陰は5ポイント増で(-19)、東京(TDR・横浜を含む)は1ポイント増で(-5)、近畿は1ポイント増で緩やかに回復傾向。関東は増減なく現状維持。北陸は4ポイント減、京阪神は3ポイント減、伊豆・箱根は1ポイント減、愛知・岐阜・三重は1ポイント減、四国は1ポイント減で緩やかに下降傾向。一方、北海道は24ポイント減で(-15)、東北は15ポイント減で(-32)、甲信越は9ポイント減で(-27)、沖縄・奄美は9ポイント減で(-1)で下落。
- ・ 3ヵ月後(1~3月)は、沖縄のみ横ばいで推移。山陽・山陰は11ポイント減、京阪神は9ポイント減、四国は7ポイント減、北陸は7ポイント減、東京は7ポイント減、関東は6ポイント減で全体的に下落傾向。

(単位：D I)

N:有効回答数
(N=195)



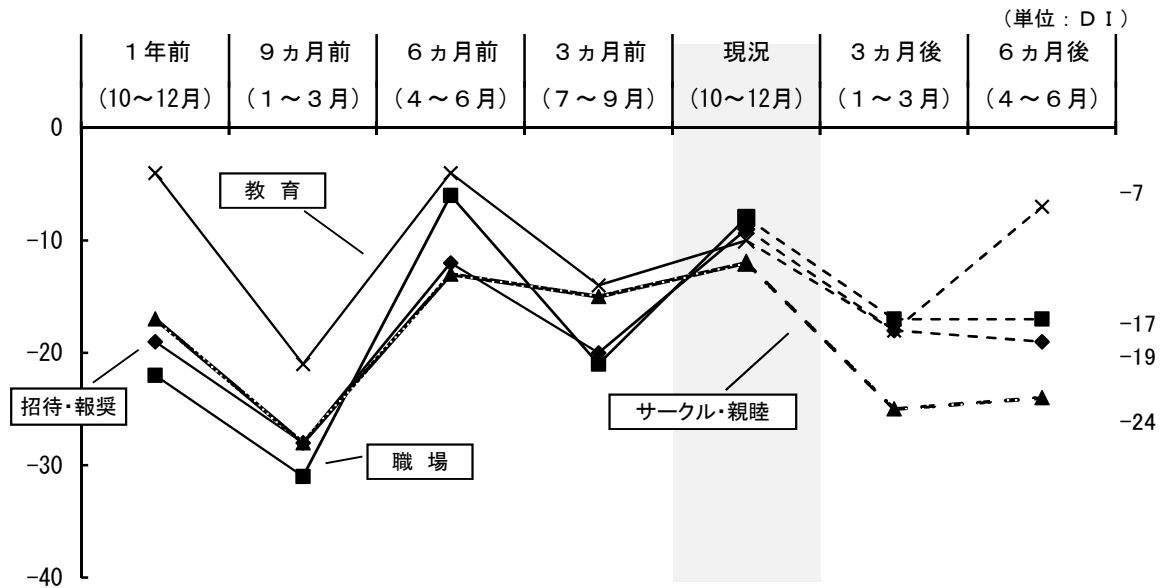
(単位：D I)

	1年前 (10~12月)	9ヵ月前 (1~3月)	6ヵ月前 (4~6月)	3ヵ月前 (7~9月)	現況 (10~12月)	3ヵ月後 (1~3月)	6ヵ月後 (4~6月)
北海道	-12	-25	-4	9	-15	-18	-12
東北	-26	-41	-25	-17	-32	-34	-32
東京(TDR・横浜を含む)	-4	-3	-1	-6	-5	-12	-11
関東	-18	-17	-6	-15	-15	-21	-17
甲信越	-25	-28	-21	-18	-27	-30	-32
伊豆・箱根(静岡を含む)	-27	-20	-9	-19	-20	-26	-25
愛知・岐阜・三重	-24	-21	-11	-19	-20	-24	-23
北陸	-10	-15	-14	-17	-21	-28	-23
京阪神(京都・大阪・USJ)	3	0	3	9	6	-3	-7
近畿	-21	-24	-10	-17	-16	-19	-17
山陽・山陰	-22	-29	-19	-24	-19	-30	-30
四国	-26	-32	-22	-25	-26	-33	-32
九州	-26	-22	-4	-21	-10	-15	-14
沖縄・奄美	-3	-2	8	8	-1	-1	-12

◆国内旅行の需要動向（団体旅行）

- ・ 現況は3カ月前（7～9月）に比べ、職場は13ポイント増で（-8）、招待・報奨は11ポイント増で（-9）と大きく上昇。教育は4ポイント増で（-10）、サークルは3ポイント増で（-12）で全体的に回復傾向。
- ・ 3カ月後（1～3月）は、サークルは13ポイント減、招待・報奨、職場は9ポイント減、教育も8ポイント減で下落傾向。

N:有効回答数
(N=195)

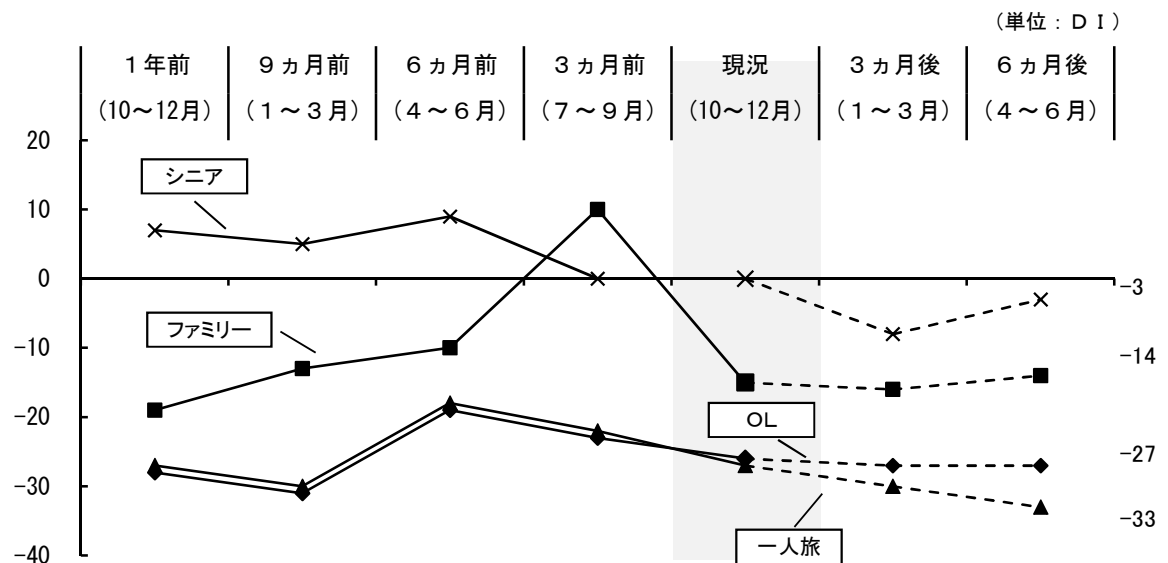


	1年前 (10~12月)	9カ月前 (1~3月)	6カ月前 (4~6月)	3カ月前 (7~9月)	現況 (10~12月)	3カ月後 (1~3月)	6カ月後 (4~6月)
招待・報奨	-19	-28	-12	-20	-9	-18	-19
職場	-22	-31	-6	-21	-8	-17	-17
サークル・親睦	-17	-28	-13	-15	-12	-25	-24
教育	-4	-21	-4	-14	-10	-18	-7

◆国内旅行の需要動向（個人観光旅行）

- ・ 現況は3カ月前（7～9月）に比べ、シニアは横ばいに推移。一人旅は5ポイント減で（-27）、OLは3ポイント減で（-26）緩やかに下降。ファミリーは25ポイント減（-15）で大きく下落。
- ・ 3カ月後（1～3月）は、一人旅は3ポイント減、ファミリーは1ポイント減、OLは1ポイント減で緩やかに下降しシニアは8ポイント減で下降し、全体的に下降傾向で推移。

N:有効回答数
(N=195)



	1年前 (10~12月)	9カ月前 (1~3月)	6カ月前 (4~6月)	3カ月前 (7~9月)	現況 (10~12月)	3カ月後 (1~3月)	6カ月後 (4~6月)
OL	-28	-31	-19	-23	-26	-27	-27
ファミリー	-19	-13	-10	10	-15	-16	-14
一人旅	-27	-30	-18	-22	-27	-30	-33
シニア（60歳以上）	7	5	9	0	0	-8	-3

■訪日旅行全般の業況について

現況は3ヶ月前より14ポイントも大幅に上昇し好調で推移。
 リテラー1は、42ポイント増加で大幅に上昇。
 東北、関東、九州は8ポイント増加し回復傾向へ。
 3ヵ月後は4ポイント減少するも上位層のプラスで推移。

総合

現況は、14ポイント増加しプラス14に推移。

業種態別では、リテラー1は42ポイント増で(+20)と大幅上昇。一方、ネット系旅行会社は40ポイント減と大幅下落。顧客種別では、FITは15ポイント増で(+29)、MICEは12ポイント増で(-5)、団体は11ポイント増(-1)で回復傾向。方面別では、東北、関東、九州が8ポイント増で上昇。大阪・京都は4ポイント増で依然と首位を維持。

現況(10~12月)

近畿、関東、東北で大幅な伸び。

- ・台湾方面のみ好調に推移、中国・韓国は低調。体験型旅行が増加。(第1種/総合旅行会社)
 - ・相変わらず京都・東京の予約は多い。(第2種/訪日旅行系旅行会社)
 - ・12月はシンガポール・マレーシアからの北海道スキーへの個人旅行が堅調(第1種/海外旅行ホールセラー)
- 訪日旅行全般は3ヶ月前(7~9月)よりポイント上昇し、+14。

3ヵ月後、6ヵ月後の見通し

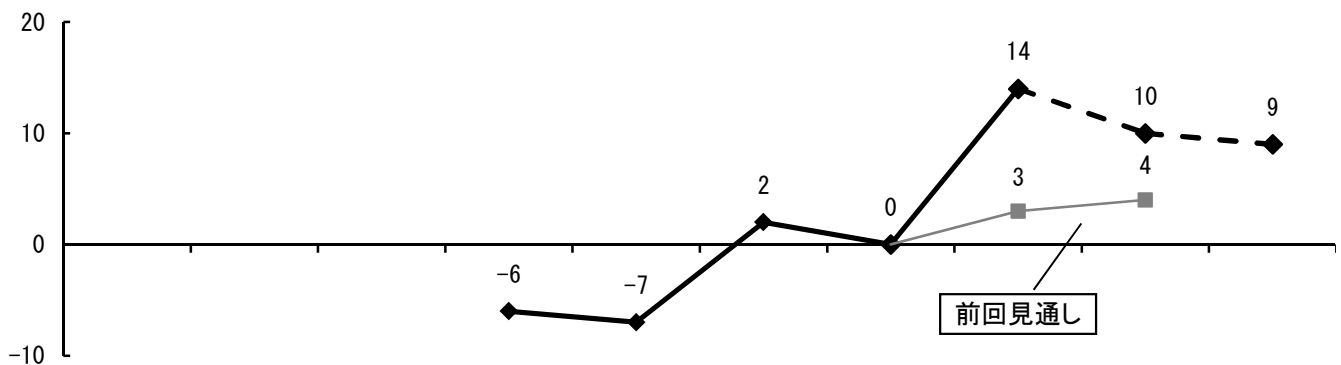
個人旅行からFITの増加。

- ・FIT化が進んでいる。大型団体から小グループへ。(第1種/リテラー2)
- ・どの方面からもLCCなどの格安の航空機を利用した訪日が多い。(第1種/総合旅行会社)
- ・富裕層の個人旅行、医療検診ツアーも増加傾向。(第3種/訪日旅行系旅行会社)

3ヵ月後(1~3月)は4ポイント下落し+10。6ヵ月後(4~6月)は5ポイント下落し+9。

(単位：D I)

N:有効回答数
(N=107)



(単位：D I)

2年前 (10~12月)	1年半前 (4~6月)	1年 3ヵ月前 (7~9月)	1年前 (10~12月)	9ヵ月前 (1~3月)	6ヵ月前 (4~6月)	3ヵ月前 (7~9月)	現況 (10~12月)	3ヵ月後 (1~3月)	6ヵ月後 (4~6月)
-	-	-	-6	-7	2	0	14	10	9
							※3	※4	

※2017年9月期調査見通し数値

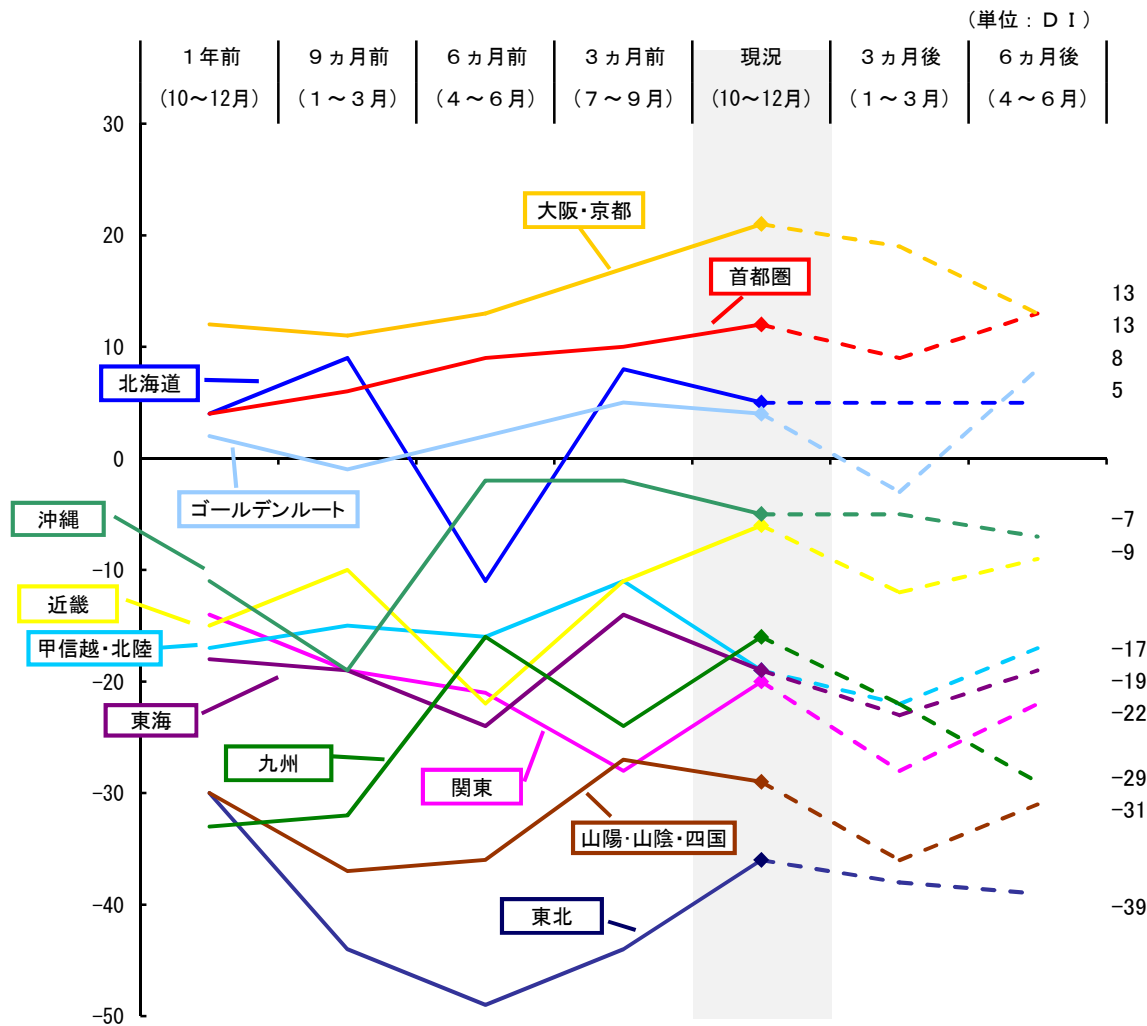
	1年半前 (4~6月)	1年 3ヵ月前 (7~9月)	1年前 (10~12月)	9ヵ月前 (1~3月)	6ヵ月前 (4~6月)	3ヵ月前 (7~9月)	現況 (10~12月)	3ヵ月後 (1~3月)	6ヵ月後 (4~6月)
総合旅行会社	-	-	7	16	30	19	16	12	8
リテラー1	-	-	-18	-12	18	-22	20	0	10
リテラー2	-	-	-10	-21	-3	-24	0	-5	-4
インハウス	-	-	0	-25	5	0	12	-7	6
ネット系旅行会社	-	-	25	100	-34	40	0	0	0
訪日旅行系旅行会社	-	-	-13	-10	-11	-3	17	22	17

◆訪日旅行の需要動向（方面別）

現況は東北、関東、九州では8ポイント増加と回復傾向。
 大阪・京都で4ポイント増加し依然として首位を維持。
 3ヵ月後は北海道、沖縄・奄美は横ばいに推移。関東は8ポイント減、
 ゴールデンルートは7ポイント減。全体的に下降傾向を推移

- ・ 現況は3ヵ月前(7~9月)に比べに比べ、九州は8ポイント増で(-16)、東北は8ポイント増で(-36)、関東(茨城・栃木・群馬)は8ポイント増で(-20)、近畿は5ポイント増で(-6)に回復傾向。大阪・京都(USJ含む)は4ポイント増で(+21)、首都圏(TDR含む)は2ポイント増(+1)で緩やかに回復。北海道は3ポイント減、沖縄は3ポイント減、山陽・山陰・四国は2ポイント減、ゴールデンルート(関東⇄関西)は1ポイント減で緩やかに下降傾向。一方、甲信越・北陸は8ポイント減、東海は5ポイント減で下降傾向へ。
- ・ 3ヵ月後(1~3月)は、北海道、沖縄は上位で横ばいに推移。関東は8ポイント減、ゴールデンルートは7ポイント減、近畿、九州は6ポイント減で下落傾向。その他の地域も下降傾向。

N:有効回答数
(N=107)



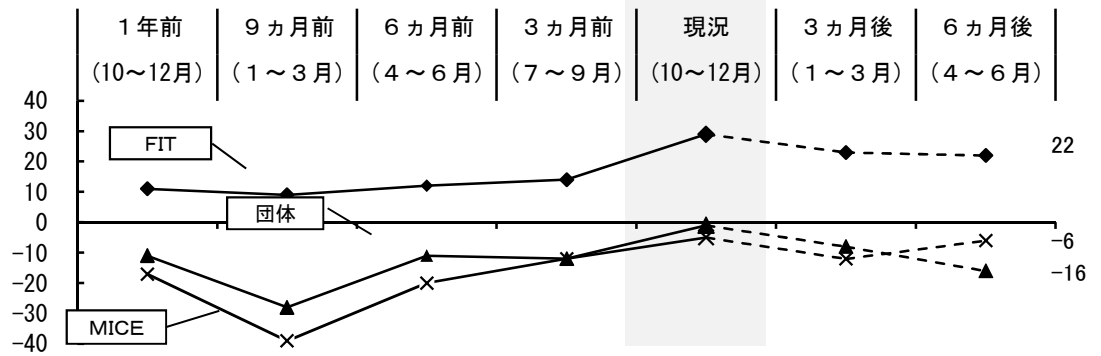
	1年前 (10~12月)	9ヵ月前 (1~3月)	6ヵ月前 (4~6月)	3ヵ月前 (7~9月)	現況 (10~12月)	3ヵ月後 (1~3月)	6ヵ月後 (4~6月)
北海道	4	9	-11	8	5	5	5
東北	-30	-44	-49	-44	-36	-38	-39
関東	-14	-19	-21	-28	-20	-28	-22
ゴールデンルート(関東⇄関西)	2	-1	2	5	4	-3	8
首都圏(TDR含む)	4	6	9	10	12	9	13
甲信越・北陸	-17	-15	-16	-11	-19	-22	-17
東海	-18	-19	-24	-14	-19	-23	-19
大阪・京都(USJ含む)	12	11	13	17	21	19	13
近畿	-15	-10	-22	-11	-6	-12	-9
山陽・山陰・四国	-30	-37	-36	-27	-29	-36	-31
九州	-33	-32	-16	-24	-16	-22	-29
沖縄	-11	-19	-2	-2	-5	-5	-7

◆訪日旅行の需要動向（顧客種別）

- ・現況は3カ月前(7～9月)に比べ、FITは15ポイント増で(+29)と大きく上昇。団体は11ポイント増で(-1)、MICEは7ポイント増で(-5)といずれも上昇傾向。
- ・3カ月後(1～3月)は、団体およびMICEで7ポイント減、FITでも6ポイントで下降傾向で推移。

N:有効回答数
(N=107)

(単位:DI)



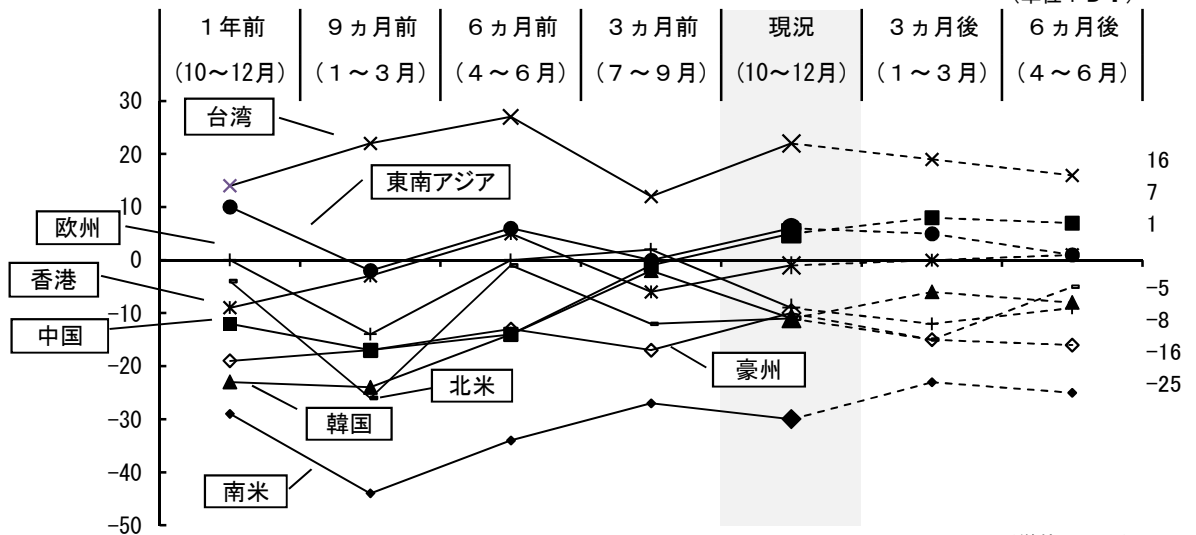
	1年前 (10~12月)	9カ月前 (1~3月)	6カ月前 (4~6月)	3カ月前 (7~9月)	現況 (10~12月)	3カ月後 (1~3月)	6カ月後 (4~6月)
FIT	11	9	12	14	29	23	22
団体	-11	-28	-11	-12	-1	-8	-16
MICE	-17	-39	-20	-12	-5	-12	-6

◆訪日旅行の需要動向（出身国別）

- ・現況は3カ月前(7～9月)に比べ、台湾は10ポイント増で(+22)、豪州は7ポイント増で(-10)、中国は6ポイント増で(+5)、東南アジアは6ポイント増で(+6)、香港は5ポイント増で(-1)に回復傾向。北米は1ポイント増(-11)で緩やかに回復。一方、欧州は11ポイント減で(-9)、韓国は9ポイント減で(-11)、南米は3ポイント減で(-30)と下降傾向。
- ・3カ月後(1～3月)は、南米は7ポイント増、韓国は5ポイント増で回復傾向。北米は4ポイント減、欧州、台湾は3ポイント減で下降傾向へ。

N:有効回答数
(N=107)

(単位:DI)



	1年前 (10~12月)	9カ月前 (1~3月)	6カ月前 (4~6月)	3カ月前 (7~9月)	現況 (10~12月)	3カ月後 (1~3月)	6カ月後 (4~6月)
中国	-12	-17	-14	-1	5	8	7
韓国	-23	-24	-14	-2	-11	-6	-8
台湾	14	22	27	12	22	19	16
香港	-9	-3	5	-6	-1	0	1
東南アジア	10	-2	6	0	6	5	1
欧州	0	-14	0	2	-9	-12	-9
北米	-4	-26	-1	-12	-11	-15	-5
南米	-29	-44	-34	-27	-30	-23	-25
豪州	-19	-17	-13	-17	-10	-15	-16